

## 検体情報チェックリスト

提供施設名： \_\_\_\_\_

フリガナ \_\_\_\_\_

患者氏名 \_\_\_\_\_

性別： 男    女

年齢： \_\_\_\_\_ 歳

検体採取日：西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

採取部位： 原発巣    転移巣

採取方法： 生検    手術

採取臓器： \_\_\_\_\_

FFPE ブロック作製日：西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

組織診断名 \_\_\_\_\_

使用固定液： 10%中性緩衝ホルマリン    その他 ( \_\_\_\_\_ )

固定時間： 6~48 時間    その他 ( \_\_\_\_\_ 時間)

脱灰液の使用： 無    有

使用脱灰液： EDTA    その他 ( \_\_\_\_\_ )

未染標本作製日：西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

有核腫瘍細胞割合： \_\_\_\_\_ %

## 紹介する前に準備していただきたいこと

パラフィンブロックの提出が可能か確認をお願いします。(原則として3年以内が望ましい)  
提出いただいたパラフィンブロックの返却は、エキスパートパネル終了後(約1~2カ月後)  
となります。

1. 未染色標本は作製の際に多くの注意点があるため、**原則パラフィンブロック**(下記条件を満たす病変を代表する1ブロック)での提供をお願いします。
2. パラフィンブロックの条件
  - 10%中性緩衝ホルマリンで6~48時間固定した標本
  - ブロック作製後概ね3年以内
  - 有核腫瘍細胞割合20%以上(30%以上を推奨)、肝組織の場合はより多くの腫瘍細胞割合が必要
  - 脱灰処理を実施していない組織(EDTA脱灰を除く)
  - 検査提出に必要な組織量の詳細は下記4.各検査に必要な標本枚数を参照
3. パラフィンブロックの提供が困難な場合
  - HE染色標本、未染色標本の提出をお願いします。
  - 必要なHE標本枚数、未染色標本の枚数又は注意点は下記の4.に示す各検査に必要な標本枚数5.未染色標本作製の際の注意点を参照願います。
4. 各検査に必要な標本枚数
  - **FoundationOne CDx**  
HE染色標本 2枚  
FFPE未染色標本  
組織表面積25mm<sup>2</sup>以上の場合:厚さ5μmの組織切片 10枚  
組織表面積25mm<sup>2</sup>未満の場合:組織切片の合計体積が1mm<sup>3</sup>以上になるように厚さ5μmの未染色標本枚数を調整してください。
  - **NCC Oncopanel**  
HE染色標本 1枚  
FFPE未染色標本  
組織表面積16mm<sup>2</sup>以上の場合:厚さ10μmの組織切片 5枚  
組織表面積16mm<sup>2</sup>未満の場合:組織切片の合計面積が80mm<sup>2</sup>以上になるように厚さ10μmの未染色標本枚数を調整してください。

- **GemMineTOP**

HE 染色標本 2枚

FFPE 未染色標本

組織表面積 16mm<sup>2</sup> 以上の場合：厚さ 5μm の組織切片 10枚

組織表面積 16mm<sup>2</sup> 未満の場合：組織切片の合計体積が 0.8mm<sup>3</sup> 以上になるように厚さ 5μm の未染色標本枚数を調整してください。

5. 未染標本作製の際の注意点

- ミクロトームを清掃し、新しい刃に交換しコンタミネーションがないように注意してください。
- 薄切水槽は洗浄し症例ごとに新しい水に交換してください。
- コーティングスライドガラスを用いてください。
- 伸展、乾燥のための加熱は避けてください。
- 1枚のスライドガラスには1切片を貼り付けてください。
- 患者氏名を鉛筆で記載してください。
- 検体の状況によっては追加の未染色標本の作製をお願いする場合があります。

6. お願い

標本を提出される際には、**検体情報チェックリスト**を記載し標本と一緒にゲノム診療科へ提出をお願いします。借用したパラフィンブロックは、ゲノム診療科で責任持ってお預かりいたします。直接当院病理診断科へ郵送されることは標本の紛失等に繋がりますのでご遠慮願います。尚、提出された HE 染色標本、未染色標本は返却いたしません。

不明な点がございましたら、ゲノム診療科にお問い合わせください。

0852-24-2111（代表） 平日 8時 20分～16時 50分